

# 滋賀県立大学生協 総代会

第266号



[ 組合員交流 ]

## 取り組み概要

日時：2023年5月23日  
場所：滋賀県立大学A4-205  
参加者数や組合員の反応：意見交流の時間ではたくさんの大学生協に対する意見を出し、大学生協に声を届けていた。

背景や概要：大学生協がどのようなことをしているのかを知ってもらい、普段利用している食堂やショップ、カフェに対しての要望や大学生協にしてほしいことを聞いていた。組合員が大学生協に声を届ける場として総代会を活用していた。

組合員が大学生協に声を届けやすい総代会

### POINT.1 力を入れて行った総代集め



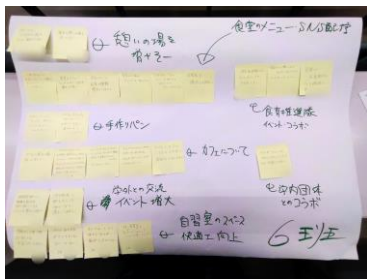
総代会を開催するにあたり、総代を集めることに苦労している会員生協は少なくありません。会員生協によってその方法は異なりますが、滋賀県立大学生協では、大学と連携してサークル団体から1名ずつ選出してもらえるように声をかけてもらったり、サークル長が集まる場面で声かけをする時間をいただいたりして、積極的な声かけを継続的に行っていました。そうすることで、学生や職員など様々な立場の人に総代会に参加してもらうことができていました。

### POINT.2 食堂で作られたお弁当を配布

新型コロナウイルス感染症による規制が少しずつ緩和され、対面の取り組みも徐々に戻りつつあります。滋賀県立大学生協では、数年ぶりに、総代会に出席した総代に食堂で作られたお弁当と飲料を配布しました。みんなでお弁当を食べながら議案提案を聞いたり、議案について考えたりしていました。そうすることで、肩の力を抜いてリラックスした状態で総代会に参加でき、意見交流の時間でも気楽に意見を出す雰囲気づくりに繋がっていました。



### POINT.3 模造紙と付箋を有効活用した意見交流の時間



総代会では、生協の1年間の振り返りや議案提案、グループに分かれての意見交流などが行われました。意見交流では、大学生活で困っていることと大学生協に対しての要望を出し合っていました。大学生活で困っていることを聞くことで組合員が今何を求めているのか、どういう現状にいるのかを知ることができていました。また、大学生協に対しての要望を付箋に書き模造紙に貼ることで、グルーピングしやすく、総代から様々な声を集めることができていました。総代が大学生協に声を届けることができていた点が素敵です。